特別会計

■羽村市国民健康保険事業会計
■羽村市後期高齢者医療会計
■羽村市介護保険事業会計
■羽村市福生都市計画事業
羽村駅西口土地区画整理事業会計
■羽村市下水道事業会計

５つの特別会計の予算総額は、115 億 6,427 万 7 千円、水道事業会計は 14 億 2,547 万 2 千円で、一般会計を合わせた総額は、328 億 6,974 万 9 千円となりました。

予算審査特別委員会では、国民健康保険事業会計に賛成・反対それぞれ１件、後期高齢者医療会計に反対１件、西口区画整理事業会計に賛成１件、反対２件の意見が出されました。

特別会計と水道事業会計の予算は、本会議での採決により、いずれも原案どおり可決されました。

国民健康保険事業会計

予算総額　65 億 1,613 万 7 千円
審議結果　原案可決

国保会計に反対

国保税の引き上げを伴う予算になっている

本会計の認定に賛成できないのは、大変厳しい市民の生活状況が続く中、平均６千11円、８・５％の国民健康保険税の引き上げを伴う予算になっていることである。

国保会計に賛成

医療費の適正化への新たな取り組みがなされている

国保会計の財源不足を、一般会計からの繰入金で補てんしているが、今回の所得割率、均等割額の改正は、一般会計の財政運営の厳しさ、また、国保に加入していない方との負担の公平性からやむを得ない。

なお、本予算には、市民の医療機関での窓口負担の軽減を図るとともに保険財政を改善するための対策として、ジェネリック医薬品の利用差額通知に係る経費も計上されており、医療費の適正化への新たな取り組みがなされている。

厳しい財政状況の中で、増大する保険給付費の財源確保と、医療費抑制の両面から編成されたものと理解する。収納対策を一層強化し、国民健康保険事業の健全運営に努力されるよう要望し、賛成する。

後期高齢者医療会計

予算総額　8 億 1,995 万 6 千円
審議結果　原案可決

後期高齢会計に反対

保険料の引き上げを伴う予算になっている

本会計の認定に賛成できないのは、年金が年々減らされ、大変厳しい生活を強いられている高齢者に対し、保険料引き上げを伴う予算となっていることである。

介護保険事業会計

予算総額　24 億 7,458 万 2 千円
審議結果　原案可決

下水道事業会計

予算総額　13 億 3,196 万 3 千円
審議結果　原案可決

水道事業会計

予算総額　14 億 2,547 万 2 千円
審議結果　原案可決

羽村駅西口土地区画整理事業会計

予算総額　4 億 2,163 万 9 千円
審議結果　原案可決

西口会計に反対

合意が得られる実現可能なまちづくりを

平成24年度の予算では、一般会計から２億５千７５７万９千円を繰り入れ、借金を１億６千３００万円増やし、羽村駅西口地区整備用地土地購入費に１億８千１２２万６千円使うこととなる。

間もなく２次換地案が完成するということだが、４０４人からの反対署名が出ており、土地区画整理事業に対し、いまだ地権者からの合意を得られていない。関係住民への負担も大きく、完成の見通しも立たない。何より住民合意に反した事業をこのまま押し進めるのではなく、もう一度地権者とよく話し合い、合意が得られる実現可能なまちづくり計画を一から見直すべきと考え反対する。

西口会計に賛成

事業の先行きを捉えた適切な予算である

羽村駅西口土地区画整理事業は関係権利者の理解と協力を得ながら換地設計の決定に向けた手続きや駅前周辺整備など、着実な事業の進展が図られているものと考える。今後は、換地設計の決定に伴う事業計画の変更や施行計画の検討により本格的な事業の進展が期待されるところである。

平成24年度は、換地設計案の決定に伴う事業計画変更の手続きや、施行計画の検討などの事務的な手続きに要する経費が予算措置されており、事業の先行きを捉えた適切なものであると考える。

よって、本予算に賛成する。

西口会計に反対

市財政の危機を招くおそれがある

①総事業費３５５億円。全市民一人当たり42万円の負担を課す西口区画整理事業は、市財政の危機を招くおそれから反対。

②広い道をつくるため、千戸の住民に、「土地を出せ、金を支払え、別の場所に移動せよ」の事業には、３６６人が非協力の署名を提出。第２次換地設計案への反対署名も４０４名、事業続行は不可能である。

③エリアマネジメント、および先導的都市環境形成計画は補助金目的のむだな事業である。また、駅前の権利者は仮住まいの不自由な生活を強いられている。

以上３点の理由で西口区画整理会計予算に反対する。

予算審査

一般会計等予算審査特別委員会では、平成24年度の予算について、市当局とのさまざまな質疑応答がありました。以下、一般をご紹介します。（内容は要約しています）

※本文中の数値は千円以下を切り捨てて表記しています。

Q&A

財政・経済

Q 固定資産税の税収を減額と見込んだ理由は。

A 土地については、24年度の評価替えによる地価下落、負担調整措置の据え置き特例の段階的廃止等の影響。家屋は、評価替えの影響と、新増築のプラスと在来家屋の減価の差し引き。償却資産は、多くの企業で設備投資が低調なこと、既存資産の除却等が進んだこと。全体を合計して3億2千200万円の減になった。

Q 東京都市町村総合交付金8億円の対象事業数と、充当額の大きい順に5項目あげてほしい。

A 対象事業数は40事業。充当額の多い順に、常備消防都委託金2億1千142万円、福生病院組合負担金が8千840万円、西多摩衛生組合負担金8千800万円、ごみ収集委託料7千605万円、学校給食組合負担金6千500万円。

Q 行財政改革の取り組みとして、事務事業の見直しにより24年度は約2千400万円の減額になっているが、見直した主な内容は。

A 主に、委託料の見直しとして数量の減や事業の統合などにより約1千700万円、サービスを低下させない中での創意工夫による経常経費の削減により約700万円の効果額となった。

Q 総合評価一般競争入札の対象工事の予定価格1億5千万円を見直すということだったが、24年度はどうなるか。

A 現在は、予定価格1億5千万円以上の工事が対象だが、平成24年度から、予定価格5千万円以上に拡大して実施していく。

Q 23年度は緊急雇用として18人の雇用があった。24年度の雇用は何人の予定か。

A 4事業9人の雇用予定。

安全・環境

Q 市民生活安全パトロールに要する経費の、業務委託の内容と運営費補助金の活用方法は。

A 業務委託は青色パトロール車によるパトロールが主。23年度にNPOとして発足した市民パトロールセンターはむらへの運営費補助金は、活動拠点となる羽村と小作のセンターの光熱水費などの管理費用等に活用する。

Q 自転車の事故が多い。危険箇所等を把握しているか。

A 自転車事故の重大性は認識している。危険箇所については、町内会・自治会等にも意見を聞きながら、場所を把握するよう努めていく。

Q 放射線測定器の利用状況は。

A 2月末現在で142件の貸し出しを行っている。

Q 防災マップの内容と配布方法は。

A 東京都で指定する土砂災害警戒区域や浸水想定区域について、場所や避難方法等を盛り込んだマップを、全戸配布する予定。AEDの設置場所も掲載している。

Q 住宅用省エネ工事等助成金の内容は。

A これまでの太陽光発電システムの助成に加え、太陽熱利用システムの設置、断熱、遮熱工事など、新たに7項目を設けた。

Q 資源ごみ回収売払代金を、前年度に比べ120％の増額を見込んでいる理由は。

A 資源ごみ回収売払代金は、毎年、売払いの相場の変動が大きい。24年度はこれまでの平均から予算を計上した。

福祉・健康

Q 高齢者福祉バスの利用状況と24年度の契約内容は。

A 23年1月末の実績で、日帰り74回、泊まり10回、合計日数で94日間の利用があった。24年度予算は、前年度実績と同等分を確保できるよう計上した。

Q 全国的に孤立死が問題になっているが、民生児童委員や友愛訪問員の配置や対応は現状で十分か。

平成24年度予算 ◆◆各会計の前年度との比較◆◆

（単位：千円）

区分		平成24年度（当初）	平成23年度（当初）	増減額	増減率
一般会計		19,880,000	20,560,000	▲680,000	▲3.3%
特別会計	国民健康保険事業	6,516,137	5,988,920	527,217	8.8%
	後期高齢者医療	819,956	728,092	91,864	12.6%
	介護保険事業	2,474,582	2,561,389	▲86,807	▲3.4%
	羽村駅西口土地区画整理事業	421,639	497,234	▲75,595	▲15.2%
	下水道事業	1,331,963	1,382,867	▲50,904	▲3.7%
	特別会計合計	11,564,277	11,158,502	405,775	3.6%
水道事業会計		1,425,472	1,444,392	▲18,920	▲1.3%
合計		32,869,749	33,162,894	▲293,145	▲0.9%

※水道事業会計は企業会計のため、「収益的支出」「資本的支出」を合計して予算額としています。

A 民生委員のもつ高齢者等の情報を友愛訪問員と共有し、連携して見守りを強化してほしいと市からお願いした。また、高齢者については、緊急通報システム、配食サービス、老人クラブの友愛活動、医療情報キットの配布等を活用している。23年度からは、新たに郵便局、新聞店等に、不審なことがあれば連絡をいただくことを依頼し、実際に連絡のあったケースもあった。

Q 働く世代への大腸がん検診の内容は。

A 今までの大腸がん検診に上乗せして、40～60歳までの5歳きざみの対象者に、勧奨通知や検診手帳、受診券を送り、大腸がん検診の受診を増やそうとするもの。

教育・生涯学習

Q 入学資金融資制度の利用実績は。

A 3月15日現在で7件、融資額234万円の申請を受け付けている。24年度は、1件50万円の貸付50人分という予算を計上している。

Q 生涯学習基本計画推進懇談会は新たに組織するのか。

A 新たに設置する。知識経験者2人と、各団体の代表と公募市民等18人、定数20人を予定している。

Q スポーツセンターの改修工事の内容と時期は。

A 耐震補強、屋上防水、第一・第二ホールの床と照明灯の改修、トイレの段差解消、暖房設備等の改修を予定。スポーツセンター前面の駐車場の舗装も含まれる。改修の時期は、24年度9月から3月までを予定している。

西口区画整理

Q 西口で導入されるエリアマネジメントとはどのようなものか。

A 地域の組織が主体となり、市街地開発だけでなく、開発後も管理運営を進め、地域を再生していく取り組みのことで、最近注目のまちづくりの手法の一つ。行政として、このような取り組みのきっかけ作りをすることが今回の業務委託の目的で、地域再生のほか、地域美化、地域コミュニティの醸成や、地域の資産価値の維持向上という相乗効果も期待できる。

その他

Q テレビはむらの抜本的な見直しが必要では。

A テレビはむらは市の広報戦略の一つであり、映像による広報の効果は計り知れない。予算削減の努力もしながら、効果的な番組制作に今後も努めたい。

Q 市庁舎電話交換機の入れ替えについて教えてほしい。

A 電話交換機の老朽化による入れ替えに合わせて、電話をかけると音声で内線や交換を案内する音声案内システムを導入する。これまでよりも多数の回線を受けられ、同時に防災無線の音声でのガイダンスも実施していく。